

佐渡市では、平成27年7月31日 今後目指すべき将来の方向と人口の将来展望を示した「佐渡市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」を策定するとともに、人口減少問題の克服を目指すため「佐渡市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。

まち・ひと・しごと創生総合戦略においては、人口減少対策の長期的な取組として「佐渡の将来を担う若者を中心とする人材育成・確保」を、短期的な取組として「一次産業の振興と観光振興を中心とした若者の雇用の受皿づくり」、「子育て環境の整備」を掲げています。

「佐渡市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」・「佐渡市まち・ひと・しごと創生総合戦略」については、佐渡市ホームページからダウンロードできます。



～歴史と文化が薫り 自然と人が共生できる美しい島～

佐渡市 まち・ひと・しごと創生 人口ビジョン・総合戦略 (概要版)



お問合せ先
佐渡市役所 総合政策課 電話0259-63-3111 (代表) / 0259-63-3802 (直通)

佐渡市

人口の現状

- 平成25年度末 60,196人
- 毎年、約1,000人ずつ減少
- 高齢化が進み65以上の人口割合が 38.6%
- 出生数が減少傾向
- 死亡数は増加傾向
- 合計特殊出生率は1.9前後と国県と比較して高い数値で推移
- 佐渡への転入者より、転出者が圧倒的に多い

これは大変だ

人口の推計

- このまま何も対策を講じなければ、2060年には、2万5千人程度まで激減
- ※国立社会保障・人口問題研究所の推計

何とかしないと

目指す将来の方向

- 合計特殊出生率を2.08へ向上
- 社会減を5年毎に50%縮小

2060年に
3万7千人程度の
人口を確保

基本目標

1 島の資源を活かし、
元気な産業と安定した雇用を創出する

- ◆新規就農経営体数：
平成31年度における
新規就農経営体数
34経営体/年
- ◆新規起業、第二創業及び
企業誘致した数：
5年間で50件増加



2 世界的3資産を中心とした島の魅力と
おもてなしの心で観光・交流を促進する

- ◆観光入込数：
5年後に17万人増加
- ◆佐渡観光旅館連盟加盟旅館
延べ宿泊数：
5年後に127,507泊増加
- ◆リピート率：
5年後に、17.2ポイント増加
- ◆観光客一人当たり
平均宿泊数：
5年後に0.05泊増加



3 生活しやすい環境を整え、若者の出会い
から就業までを島全体で応援する

- ◆合計特殊出生率：
5年後に0.20ポイント増加
- ◆社会減数：5年後に50%縮小



4 特色ある持続可能な地域をつくり、
島の安全・安心を確保する

- ◆これからも佐渡市に住みたいと思う人の
割合：5年後に平成27年度を上回る
- ◆自主防災組織率：
5年後に100%を達成



主なKPI (重要業績評価指標。施策ごとの進捗状況を
検証するために設定する指標。)

○コシヒカリの1等米比率
66% (平成22~平成26年度平均値) → 90%以上 (平成31年度)

○新たに雇用を創出する農商工連携又は
6次産業化を行う企業・団体数
5件 (累計) (平成31年度)

○中学生の職場体験日数
2.2日/年 (平成26年度) → 5日/年 (平成31年度)



○市及び観光協会ホームページのページビュー件数
458,783件/月 (平成26年) → 500,000件/月 (平成31年度)

○年間100人以上が参加する着地型商品数
6コース (平成26年) → 10コース (平成31年度)

○外国人観光客数
1,510人/年 (平成23年) → 5,000人/年 (平成31年度)

○航路総輸送人員
158万人/年 (平成26年) →
200万人/年 (平成31年度)

○3資産を語れるガイド数
50人 (平成31年度)



○市が実施する出会いイベント等によるカップル成立数
11組/年 (平成26年度) → 50組/年 (平成31年度)

○出生数
344人/年 (平成25年度)
→ 440人/年 (平成31年度)

○若者定住支援数
25人/年 (平成26年度)
→ 80人/年 (平成31年度)



○地域おこし協力隊員定着率
0% (平成26年度) → 80% (平成31年度)

○しまびと元気応援団自主活動グループ
35団体 (平成26年度) → 50団体 (平成31年度)

○さどひまわりネット登録率
24% (平成26年度) → 30% (平成31年度)

○地域防災リーダー認定、登録者数
150人 (平成26年度) → 300人 (平成31年度)



主な取組

- ◇佐渡米の品質向上 (色彩選別機等機械導入補助等) や高付加価値化に関する支援
- ◇「新規就農里親制度」等の新規就農者確保に向けた取組の充実
- ◇「佐渡版戸別所得補償制度」等による60歳未満農業者等への支援
- ◇起業、第二創業及び企業誘致の促進
- ◇農商工連携と6次産業化の促進

- ◇観光推進体制の強化 (佐渡版DMO設立の検討等)
- ◇誘客広告宣伝の強化
- ◇多様化する顧客ニーズに対応した観光メニューの開発
- ◇周遊滞在型旅行の推進
- ◇広域観光連携の促進
- ◇ハード面での受入環境の整備 (トイレの洋式化、外国語表記を含む看板・案内板の整備、Wi-Fi環境の充実、駐車場の整備等)
- ◇ソフト面での受入環境の整備 (ガイドの養成、ICTの活用、消費税免税店の促進等)
- ◇ICT等を利用した外国人旅行者に向けた情報発信の整備とルート確立
- ◇佐渡航路運賃の低廉化及び多様化
- ◇島内二次交通の充実
- ◇佐渡空港の整備及び航空路の再開
- ◇両津港・小木港等の賑わい空間づくり

- ◇独身男女の出会いの場の創出
- ◇保育料2人目無料化の拡充
- ◇妊娠から出産・子育て・就労までの総合相談サポート
- ◇キャリア教育の推進
- ◇「豊かな心を育む教育」の推進
- ◇小学校から高校までの教育費等の負担軽減方策の検討
- ◇移住・定住に関する効果的なPR・情報提供
- ◇「移住コンシェルジュ制度」等による誘導策の展開
- ◇移住体験制度を始めとした受入態勢の整備
- ◇「次世代の高校教育」に向けた連携等の取組

- ◇地域自主組織等の地域づくり活動への支援
- ◇学校や地区公民館を活用した交流拠点づくり
- ◇地域包括ケアシステムの構築
- ◇安全・安心な医療が受けられる体制 (医師・看護師確保等) の整備
- ◇公共施設等の総合的かつ計画的な管理の推進
- ◇地域防災力向上に資するリーダーの育成
- ◇市民や関係機関が一体となった総合防災訓練の実施
- ◇港湾等防災拠点の整備